

令和8年度 札幌市立厚別中学校 教育課程

1 学校教育目標

開拓の精神(こころ)をうけつぎ、たくましく実践する生徒になる。

2 目指す生徒像 「とりくむ生徒」 「やりぬく生徒」 「きたえる生徒」

- ・深く考えて行動し創造力に富んだ生徒 (知) → 「主体的・対話的で深い学び」
- ・情操豊かでみんなのために尽くす生徒 (徳) → 「個人と社会のウェルビーイング」
- ・心身ともに健康で明朗な生徒 (体) → 「健やかな体」の実践

3 学校経営の方針

- (1) 教職員全員の熱意と創造に満ち、人間尊重に基づいた教育活動の推進
- (2) 「子どもと真摯に向き合うこと」を大切にし、信頼関係を基盤とした教育活動の推進
- (3) 生徒一人一人の個性や特性を尊重し、「自ら考え、判断し、行動できる」たくましい生徒の育成
- (4) 家庭・地域社会との連携を深め、教職員とともに生徒を育成する、地域に開かれた学校づくり
- (5) 安全・安心に過ごすことのできる学習環境づくりと施設設備の管理
- (6) 心身ともに健康で楽しく生活できる、ウェルビーイングと働き方改革を目指した学校づくり

4 学校運営の重点

1 教育の質の向上と授業改善 【 旅行的行事・キャリア教育・音魂クール(合唱)の三本柱 】

- (1) AAR サイクルを意識した「課題探究的な学習」と、生徒が主体的に取り組む「自治的な活動」を二本柱とし、「本物の経験」となる学びの場を創出した教育の推進。
- (2) 指導と評価の一体化による、信頼される学習評価・評定の研修を継続し、授業改善と教育の質の向上を目指す。

2 生徒理解に基づいた組織的な生徒支援

- (1) 日常のふれあいを大切にし、生徒理解を深め、自己肯定感と自己有用感を高める指導を進める。
- (2) 相談活動の充実を図り、「いじめ」「不登校」の未然防止や早期発見、緊密な情報交流や連携をもとにした組織的な対応に努める。
- (3) 特別な支援を必要とする生徒に対して、学びの支援委員会を核とし、SC・SSW・相談支援パートナー・学びのサポーターなどの専門スタッフ、関係機関との速やかな連携を積極的に進める。

3 教育環境の整備と教育資源の有効活用 【 週時数 28 時間の推進 】

- (1) 学びやすく・教えやすく・働きやすい週時程と校舎内外の環境整備・美化の促進に努める。
- (2) 公費と私費の適切な執行と、DX化・ペーパーレス化を進めながら、限られた予算の計画的かつ効果的な執行に努める。

4 CS(コミュニティ・スクール)を中心として、保護者・地域社会と共に歩む学校教育

- (1) 学校・家庭・地域がCSを軸として連携し、子どもの声を聴き、子どもにとって本当に必要なことは何かを共に考え、自立に向かう成長を支える。
- (2) 学校便り、ホームページ等の内容を工夫するとともに、「すぐーる」を活用したメール発信等、情報の発信と共有に努める。

5 ウェルビーイングを目指した学校改善と働き方改革

- (1) 健康な心身を維持向上させるために、健康に関する指導を充実させ、意識の向上を図る。
- (2) 豊かな家庭生活を基盤とした、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進する

5 本校の教育について

《令和8年度の主な学校行事の予定一覧》

4月8日	1学期着任式・始業式	10月5日	(全学年)前期通知表配布
9日	第43回入学式(2・3年臨時休業日)	7日	3年生学力テスト総合B
10日	新入生歓迎集会	9日	7組秋の校外学習
13日	1年生部活動見学(～20日)	30日	音魂クール
16日	授業参観・学年・学級PTA	11月11日	3年生学力テスト総合C
23日	部活動結成会・7組懇談会	13日	授業参観日・進路説明会②・学年PTA
28日	身体測定・視力検査・聴力検査	17日	教育相談(～26日)
5月7日	教育相談(～19日)	12月8日	3年生進路懇談・7組進路懇談(～15日)
8日	授業参観・学校説明会	22日	期末特別清掃(～24日)
27日	3年生修学旅行(～29日)	23日	授業公開日・7組お楽しみ会
6月2日	2年生宿泊学習(～3日)	25日	2学期終業式
16日	授業公開日	1月15日	3学期始業式・後期定期テスト
25日	1年生校外学習	25日	授業公開日
7月3日	生徒会役員選挙・公示	2月10日	新入生保護者説明会
8日	3年生体育大会	12日	新入生中学校訪問
9日	2年生体育大会	15日	1・2年生年度末懇談(～22日)
10日	1年生体育大会	16日	私立高校A日程入試(～17日)
21日	期末特別清掃(～22日)	19日	私立高校B日程入試(～20日)
23日	授業参観日・進路説明会①	3月3日	公立高校入試(～4日)
24日	1学期終業式	4日	授業参観日・1・2年生学年PTA
8月24日	2学期始業式	5日	7組お別れ会
27日	全校総合(みらくエ開始)	15日	第43回卒業式・3年生通知表配布
9月1日	前期定期テスト	16日	公立入試合格発表
10日	3年生学力テスト総合A	25日	令和8年度修了式・離任式
17日	生徒会役員選挙・立会演説会		1・2年生通知表配布
24日	前期末懇談(～10月1日)		

(1) 年間計画について

① 長期休業を境とした標記：1学期、2学期、3学期

成績通知に係る学期区分：前期(4月～9月末)、後期(10月～3月末)の2学期制

② 時間割

・月曜日から木曜日は6時間日課、金曜日は5時間日課を基本とします。

・A時間割：4～7月、B時間割：8～9月、C時間割：10～11月、D時間割：12～3月の4種類を作成します。

※必要に応じて(修学旅行等)特別時間割を作成します。

③ テスト関係

・学力テスト(3年生のみ) ***評価評定には含みません。**

総合A(9月)、総合B(10月)、総合C(11月)の3回実施します。

・全国学力・学習状況調査(3年生のみ 4月・5月) ***評価評定には含みません。**

・定期テスト(全学年)

前期1回(全学年：9月)、後期1回(3学年：1月、1・2学年：2月)に実施します。

教科は国語・社会・数学・理科・英語の5教科です。

・その他テスト(全学年 教科ごとに実施) 例 単元テスト、確認テスト、まとめテスト

④ 行事について

- ・ 旅行的行事（校外学習、宿泊学習、修学旅行）について
【1 学年:札幌市内】 【2 学年：1泊 帯広方面】 【3 学年：2泊3日 鎌倉方面】
- ・ 体育的行事（体育大会）について ※保護者の参観が可能
7月に学年毎に本校体育館及びグラウンドを使用して行われます。
- ・ 文化的行事（合唱発表会）について ※保護者の参観が可能
10月下旬に、「音魂クール」（おとこんくーる）という名前で行われております。

⑤ 授業参観・授業公開・期末懇談について

- ・ 月に1回は保護者が来校できるように学校公開に努めております。
- ・ 学年PTA・学級PTA・進路説明会などがある日を参観日として設定しております。
- ・ 授業公開日は日常の授業を見てもらうことを目的として、年3回設定しております。1日の中でご自由に参観できますが、授業内容がテストなどになる場合もあります。
- ・ 個人懇談については、前期末懇談（9月：全学年）、進路懇談（12月：3年生）、年度末懇談（2月：1・2年生）を予定しております。原則、担任・本人・保護者の三者懇談になります。

⑥ 保護者説明会について

- ・ 学校説明会（5月）
学習や行事など、本校の教育活動全般について説明します。
- ・ 進路説明会（7月、11月）
年間2回の実施を予定しています。7月は『進路選択の留意事項』『高校入試のシステム』などについて、11月は『今後の具体的な進路手続き』『日程表』など、3学年を対象にした内容となっておりますが、全学年の保護者の皆様にご参加いただけます。
- ・ 新入生保護者説明会（2月）
新入生の保護者に対し、入学にあたっての事前準備や本校の教育活動についての説明をします。

⑦ 教育相談活動

- ・ 事前アンケートをもとに、5月と11月の2回、生徒と担任が中心となり面談を行います。
- ・ アプリ「シャボテンログ」を毎日利用し、随時生徒の悩みに適切に対応します。

⑧ 学校だより・学校ホームページについて

- ・ 学校だよりなどの発行物は、今年度から「すぐーる」で配付を行います。
- ・ 学校ホームページは、内容を随時更新しています。
- ・ 学校ホームページに、アンケートフォームを常設し意見を募集しております。

*厚別中学校ホームページ <https://www.atsubetsu-j.sapporo-c.ed.jp/>

トップページの横のタブの中に『アンケートフォーム』を選び、パスワードを入力、パスワードは、市外局番なしの学校電話番号です。

(2) 評価・評定について

① 評価方法等

- ・各教科で内容のまとまりごとに学習内容を指導しています。
- ・【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について5段階で評価します。また、各観点の評価の平均を算出したものが評定となります。

※算出値を四捨五入し、整数値とします。

- ・生徒は評価物管理シート（クロムブックで使用できるスプレッドシート）で自分の評価を管理することができ、今の自分の成績を確認することができます。 ※あくまで自己管理用です。
- ・評価物は各教科で設定しており、ワークシート、レポート、作品、実技、小テスト、単元テスト、定期テストなどがあります。各教科のオリエンテーション等で生徒に説明がなされています。

※定期テストは5教科（国、数、社、理、英）のみ実施し、評価資料の1つとして扱います。

- ・定期テストのみで成績が決まることはありません。定期テストは、『知識・技能』及び『思考・判断・表現』の2観点について評価します。昨年度までは、教科によって定期テストの占める割合が異なっておりましたが、今年度より上記2観点の評価の3割を占めるよう統一しています。

※日常の評価：定期テスト = 7：3

- ・前期末（9月）に前期の指導内容から算出した途中経過の評価・評定を通知表でお伝えします。
- ・学年末（3月）に1年間の指導内容から算出した最終的な評価・評定を通知表でお伝えします。

(例) 前期の成績：7つの評価物、前期定期テストを実施した場合

各観点	評価物 1	評価物 2	評価物 3	評価物 4	評価物 5	評価物 6	評価物 7	前期定期テスト	平均値	評価
知・技	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
思・判・表	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
主学態	3	3	3	3	4	4	4		3.4	3 (※')

■ ※' 評価・評定は、四捨五入で算出します。

観点別学習状況の各評価 (※ ² 1・2=C、3=B、4・5=A)			評定
知・技	思・判・表	主学態	3 (※')
A (4)	B (3)	B (3)	

② 評価基準について、下記の基準によって資料を評価します。

レポートなどの提出物			諸テスト	
観点別学習状況の評価		日常の見取り	到達率	評価
十分に満足されると判断されるもの	A	A° = 5	80%以上	A° = 5
		A = 4	60%以上	A = 4
おおむね満足できると判断されるもの	B	B = 3	40%以上	B = 3
努力を要すると判断されるもの	C	C° = 2	20%以上	C° = 2
		C = 1	20%未満	C = 1

※この基準以外で評価する場合は随時お知らせします。

(3) 道徳、学活および総合的な学習の時間に関わること

① 学活：特別活動としての学級活動は、週1単位時間、年間35時間程度を配当

② 総合的な学習の時間

- ・1学年は、A時間割で週2単位時間、B,C,D時間割で週1単位時間、年間50時間程度を配当
- ・2,3学年は、通年週2単位時間、年間70時間程度を配当
- ・「みらいクエスト」(通称 みらくエ)について

一般社団法人「未来教育サポート」と連携し、本校オリジナルのプログラムを実施しております。「消費者や社会のニーズという視点から職業理解を深め、理想とする社会の実現に向けた見直しをもつ経験を通して、自分や社会の将来像について具体的に考える」ことを目標に、様々な職種の多くの社会人の方々にお力を借りて授業を展開しています。昨年度は「キャリア教育講師人材バンク」を創設し、保護者や地域の方々の協力を得て、26名の講師の方々の協力のもと、24のゼミを開講しました。今年度も人材バンク募集中しておりますので、最後のページにあります別紙登録資料をご覧ください。また、本校HPにも掲載しております。

《令和8年度 総合的な学習の時間の学習内容一覧》

	全体	旅行的行事	キャリア学習
テーマ	「どうありたい？」 「大きくなったら、 なにになりたい？」	地域～日本を知る 日本の問題・流行・仕組みを知り 地域課題についての理解を深め 社会貢献の方法を考える	社会貢献する会社設立へ 世界的な視野をもち、日本が持つ社会問題等とリンクし、具体的な考えをもつ。
1学年	問題発見 ～消費者・利用者の視点～	札幌市を知る ・札幌市が誇れるところは？ ・札幌市が抱える社会問題は？ 地域課題についての理解を深め 社会貢献の方法を考える	社会問題の発見と深堀 身近な社会問題を知り、解決したい問題を絞る。 ＜ゼミ形式での授業＞
2学年	働くことの具体化 ～従業員(被雇用者)の視点～	北海道を知る ・北海道が誇れるところは？ ・北海道が抱える社会問題は？ 地域課題についての理解を深め 社会貢献の方法を考える	就業することでの問題発見と 解決から魅力発信 会社経営者・職業人から実情を知り、生徒は被雇用者として意見交流をし、魅力を発信する。
3学年	社会貢献の具体化 ～経営者(雇用者)の視点～	日本を知る ・日本が誇れるところは？ ・日本が抱える社会問題は？ 地域課題についての理解を深め 社会貢献の方法を考える	社会問題を踏まえ、社会貢献 のための起業を相談し、発案 生徒が雇用主になって、社会に貢献する会社を設立することを考え、相談役として外部講師が入る。
時期	通年	前期(4～9月)	後期(10～2月) 3年生は12月までを目途に

③ 道徳

- ・年間35時間程度を実施します。
- ・下記の表のA~Dの4分類22項目を中心に学習します。

A 主として自分自身に関すること		
(1) 自主、自律、自由と責任	(2) 節度、節制	(3) 向上心、個性の伸長
(4) 希望と勇気、克己と強い意志	(5) 真理の探究、創造	
B 主として他の人と関わりに関すること		
(6) 思いやり、感謝	(7) 礼儀	(8) 友情、信頼
(9) 相互理解、寛容		
C 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること		
(10) 遵法精神、公德心	(11) 公正、公平、社会正義	(12) 社会参画、公共の精神
(13) 勤労	(14) 家族愛、家庭生活の充実	(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	(18) 国際理解、国際貢献
D 主として集団や社会とのかかわりに関すること		
(19) 生命の尊さ	(20) 自然愛護	(21) 感動、畏敬の念
(22) よりよく生きる喜び		

④ 手帳の活用

- ・学校全体の取り組みとして、手帳を活用し、見通しをもって行動するスキルを身に付ける。
- ・EDUL Design 株式会社の手帳を購入し、年度初めにWEB講習会を開催しました。

⑤ キャリアパスポート

- ・【年度初め】【前期末】【学年末】【各行事】タイミングで、事前事後の活動の振り返りを行い、ファイリングし、事故の将来への見通しを考えます。
- ・小中で一貫した取り組みになるよう、パートナー校（小野幌小学校・厚別東小学校）と9年間、形式を統一して行っています。

⑥ 地域連携&ボランティア

- ・花いっぱいプロジェクト&クリーンアッププロジェクト（3年生 6月）
国道12号線の花植え活動と同時に、校区内の公園を中心としたエリアを掃除し、地域の環境向上に貢献します。
- ・ワイワイ夏フェスタ（7月）
全校生徒からボランティアを募り、夏休み初旬に小野幌くりの木公園で行われる「ワイワイ夏フェスタ」の催し物スタッフとして小さな子どもたちの対応をします。（7月）
- ・DIG研修（1年生 11月）
札幌市防災協会から講師を招き、地域の方々とともに災害のリスクをイメージして、予防策や対応策を考える参加・体験型の図上訓練を行います。

- ⑦ 小中一貫した教育の推進（合同研修会、授業参観、部活動見学、出前授業など）
- ・パートナー校の教職員が小中合同研修会を年に 3 回行い、授業参観→グループ研修を行います。
 - ・グループ研修の成果は、3 月の職員会議等で交流し、学校全体の教育課程編成や自己研鑽につながります。
 - ・「音魂クール」での、3 学年の合唱交流会に小学 6 年生を招待します。
 - ・小学 6 年生の中学校訪問を生徒会が中心で行い、中学校生活の紹介や校舎巡りなどを行います。
 - ・中学校の授業の雰囲気を知ってもらうため、中学校教諭が小学校に出向き出前授業を 3 月に行っています。

札幌市立厚別中学校総合的な学習の時間 キャリア教育“みらくエ”講師人材バンクについて

(みらいクエスト)

【令和8年度改定版】

1 講師人材バンク設置の目的

厚別中学校の生徒が、未来への希望や将来への期待を膨らませるために、『総合的な学習の時間』でキャリア教育を行います。その活動に力を貸していただける講師を保護者や地域の皆様から募集し、より充実したキャリア教育を実施したいと考えています。

2 講師人材バンクは、20～30人ほどの登録を目指しています。

3 キャリア教育“みらくエ”で講師の方と共有したい3つの思い

- ①生徒が、【いま】を大切にすることで、不安定な将来を生き抜くたくましさを得ること。
- ②生徒が、【10年後】の社会を生き抜くスキル・メンタルを、講師の方の人生から学ぶこと。
- ③生徒が、【〇か月後、〇年後】の自分を見通して、計画的に全力で取り組むこと。

4 講師の方に求める基本的な姿勢について

- ①『総合的な学習の時間』のねらいや意義を理解し、生徒の未来を第一に考えること。
- ②各学年の視点を大事にいただくこと。
- ③職業のやりがいや社会貢献など、その職業の素晴らしさとともに、実際の出来事や失敗談などを通して、その職業の未来・自分の将来の目標などを伝えること。
- ④伝えるだけでなく、生徒から聞き出すことや、生徒からの発信力を大切にすること。
- ⑤教職員や(一社)未来教育サポートとの連携を密に行い、生徒を見守る気持ちを大切にすること。
- ⑥営利を目的とせず、無償での活動を前提とすること。
- ⑦「生徒と共に学ぶ」という、双方向のコミュニケーションを大切にして進めていただくこと。

5 本校キャリア教育“みらくエ”の活動内容

■全学年を縦割りにし、ゼミ形式（グループ討議形式）で行います。

■生徒は、1学年：消費者、2学年：従業員、3学年：経営者という学年ごと異なる視点から、講師の職業に触れ、それぞれの視点から調査内容と提言をまとめ、発表します。

■講師の方には3回の来校をお願いし、ゼミを開設します。

- ・第1回は、『講師の職業の魅力と抱えている問題』をテーマに講義形式で行いながら、生徒との交流をします。
- ・第2回は、『講師の職業の体験活動』をテーマに、様々な形で生徒に職業体験をさせながら、交流を深めていきます。
- ・第3回は、『3年生からの提言と1～2年生からの調査内容の確認や中間発表』をテーマに、生徒からの発信に対して、アドバイス等をしていきます。

■2学期末に学級発表会、3学期に全校発表会を行い、活動の締めくくりとします。

6 令和8年度の予定について

①講師人材バンクの募集開始と締切

令和7年2月より募集を開始しています。

令和8年5月8日（金）を令和8年度の締切日とします。

講師の決定は、5月末日までに通知いたします。

②事前ミーティング及び勉強会

第1回事前ミーティング7月15日（水）16：00～

第2回事前ミーティング8月25日（火）16：00～

※勉強会の日時については、決まりしだいお知らせいたします。

③講師来校日（ゼミを開設）

第1回ゼミ10月16日（金）13：30～16：00

第2回ゼミ11月19日（木）13：30～16：00

第3回ゼミ12月 7日（月）13：30～16：00

④みらくエ全校発表会

2月26日（金）13：30～14：30

7 講師を引き受けていただく上での注意事項

①『みらくエ』の日程や授業時間に合わせていただくことが可能であること。

②生徒とは校内だけの交流とし、校外やSNS等での交流は行わないこと。

③校内で知り得た個人情報を校外に持ち出さないこと。

④事前の打ち合わせに参加していただけること。

8 講師人材バンク登録方法

昨年度ご登録いただいた講師の皆様も、再度登録をお願いいたします。

①Googleフォームを使って、募集します。

②以下のQRコードから登録をお願いいたします。



【講師人材バンク登録はこちら！】